

～青函トンネル開業30周年記念～



青函圏フォーラム



地域の優れた自然景観、伝統文化、多種多様な食など、この圏域の特色ある資源を活かした、様々な主体による交流・連携の取組の一層の促進を図り、活力ある青函圏の形成に繋げるための方策を探ります。

日時 平成31年1月18日(金)

開場：14:30 開演：15:00

場所 ラ・プラス青い森 2階「メープル」

(青森県青森市中央1丁目11-18)

参加無料!

第1部 基調講演会 15:00～15:50

テーマ：「海の道は無限大～青函圏の可能性～」

講師：山内 史子 氏 (紀行作家)

第2部 パネルディスカッション 16:00～17:10

テーマ：「過去から現在～青函圏の未来に繋げたいこと～」

コーディネーター

**講師兼コーディネーター
プロフィール**



山内 史子 氏

青森市出身。紀行作家。日本大学芸術学部文芸学科卒業。英国ペンギン・ブックス社でプロモーションを担当後に独立、史跡や物語の舞台を中心に国内外を旅している。全都道府県および40カ国を訪問。

著書に「英国貴族の館に泊まる」「英国ファンタジーをめぐるロンドン散歩」(ともに小学館)、「赤毛のアン」の島へ」(白泉社)、「ニッポン『酒』の旅」(洋泉社)など。

日本銀行広報誌「にちぎん」の連載「地域の底力」では、各地のまちづくりを紹介。

東奥日報夕刊では現在、リレーエッセイ「先輩&後輩の今日はどこぞの空の下？」を連載中。

パネリスト

青函連絡船「八甲田丸」 元機関長 葛西 鎌司 氏

昭和36年、日本郵船(株)に入社し、機関員として外国航路の貨物船に乗船。その後、青函連絡船の機関長となり、昭和63年、青函連絡船の最終便「八甲田丸」に乗船し、青函連絡船80年の歴史の最後を見届けた。現在、青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」のボランティアガイドを務める。

北海道旅客鉄道(株)函館支社 観光開発室 室長 川野 雄一 氏

主に函館支社において木古内駅長、支社次長などを経て、2017年より観光開発室長として道南エリアの観光開発、また北海道新幹線開業後の青函交流、東北エリアとの広域連携強化に向けた取組みを進めている。

(一社)北海道商工会議所連合会 政策企画部 部長 福井 邦幸 氏

札幌市出身。1997年、北海道商工会議所連合会に就職、2016年より現職。新幹線札幌誘致を担当、小学生新幹線体験ツアー等を立案し、次世代ユーザーの創出に取り組む他、高速道路等インフラ整備促進、空港民間委託、人材確保・育成事業等に携わる。現在、北海道産業教育審議会委員、さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン懇談会委員等を歴任。

**海と日本PROJECT※ in 青森県実行委員会 事務局
(株)青森テレビ 営業局 局長 櫻田 昌孝 氏**

青函トンネル開業30周年の節目を迎える今年、両地域の次世代を担う子どもたちがそれぞれの視点で津軽海峡を深く知る機会をつくり、未来につなげる行動のきっかけづくりに取り組んだ。当日は、本プロジェクト「津軽海峡こども調査団」の子どもたちによる発表も実施。



主催：青函圏交流・連携推進会議

<http://www.jomon.ne.jp/~seikan01/>

※ 海と日本PROJECT: 次世代を担う子供や若者を中心として多様な人が海への好奇心を持ち、行動を起こすムーブメントをつくることを目指し、日本財団が2015年から全国展開しているプロジェクトである。

お申込み・お問い合わせは裏面をご覧ください

「青函圏フォーラム」参加申込書

1月15日(火)までに下記へお申し込みください。

FAX:017-734-8035

MAIL:kotsu@pref.aomori.lg.jp

団体名	
TEL	

役職名	氏名	フォーラム	懇親会

フォーラム終了後に懇親会を開催しますので、奮ってご参加ください。
 【時間】17時30分～18時30分
 【会場】ラ・プラス青い森(2階カメリア)
 【会費】3,000円

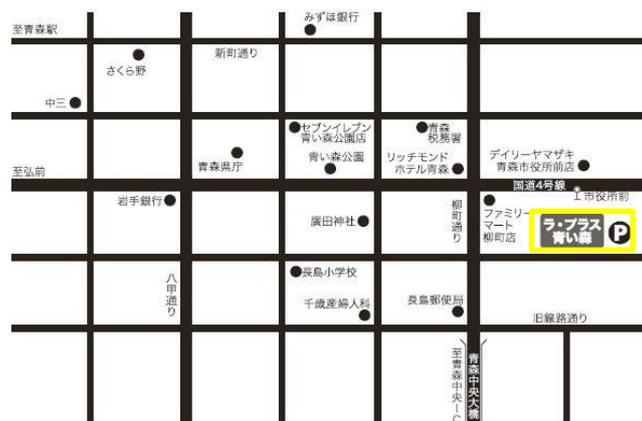
※「フォーラム」及び「懇親会」の欄に、出席の場合は“○”を欠席の場合は“×”をご記入ください。

【お問い合わせ先】

青函圏交流・連携推進会議 事務局

(青森県企画政策部交通政策課
新幹線・地域交通グループ内)

TEL:017-734-9152



青函圏交流・連携推進会議とは

昭和63年の青函トンネル開業を契機に、青森県と北海道道南地域（渡島・檜山地方）との交流拡大と連携強化を図ることを目的として、青函圏域の産学官が連携し設立した「青函インターブロック交流圏構想推進協議会」を前身としています。

平成23年度から、「青函圏交流・連携推進会議」に名称を改めるとともに、交流の裾野を広げるため、既存の構成団体に加えて交流・連携に取り組む民間の団体などに新たにご参加いただき、青函圏の交流・連携を推進する活動を行っています。

事務局：北海道、青森県